

2012年度 国際日本学部 特別講義

我々はボタンの掛け違えをどのように直せるか？ (全5回)

～ 日本の戦後史とサブカルチャー史が示す問題 ～

全学部・全学年向け 一般来聴者歓迎

国際日本学部では「戦後日本のサブカルチャーと社会」をテーマに特別講義を開講します。
学生諸君の積極的な受講を期待しています。



明治大学国際日本学部 特別招聘教授 宮台 真司 先生

社会学者。映画批評家。首都大学東京教授。1959年3月3日仙台市生まれ。京都市育ち。東京大学大学院博士課程修了。社会学博士。国家論、宗教論、性愛論、犯罪論、教育論、外交論、文化論の分野で単著30冊、共著で100冊の著書がある。最近作は『14歳からの社会学』『〈世界〉はそもそもデタラメである』などがある。キーワードは、全体性、ソーシャルデザイン、アーキテクチャ、根源的未規定性。

①	11月24日(土)	社会学とは何か？	グローバル化＝資本移動自由化ゆえに、市場と国家への依存は致命的帰結を招く。現に日本の社会は虫の息だ。俄然〈共同体自治〉の必要性が高まってきた。その理由を「本来の」社会学だけが解き明かせる。社会学とはどんな学問で、どう「頹落」してきたのか？
②	3～5限 (13:00～17:50) 明治大学 和泉キャンパス メディア棟 M302 教室	グローバル化とは何か？	グローバル化とは資本移動自由化である。資本移動自由化は、どんな問題をもたらすか。〈構造的貧困〉と〈格差化〉を通じて共同体空洞化をもたらす。グローバル化自体は止められない。グローバル化の副作用に処するには〈共同体自治〉しかない。その理由は何か？
③		援交研究をしたのはなぜか？	最近原発都民投票条例の制定を求める直接請求の請求代表人として話題になった宮台である。多くの方から昨今の「世直し活動」とかつての「援交研究」の関係を尋ねられるが、両者は完全にひと繋がり。その結びつきを初めて詳細に語る。鍵概念〈我有化〉とは？
④	11月26日(月) 4, 5限	昭和とはどんな時代か？	〈我有化〉＝ワガモノ化。直前に始まる平成の〈フラット化〉に抗う動機が援交研究を支えた。同時代の先進国にも我有化運動が広がる(second summer of love/squatting)。フラット化以前の昭和とはどんな時代か。昭和の映像や音楽を素材としてつち徹底考察する。
⑤	(14:40～17:50) 明治大学 和泉キャンパス メディア棟 M305 教室	社会を〈我有化〉する唯一の方法	政治学の最先端が考察する通り、グローバル化と民主主義は両立が困難である。かかる普遍的問題に加え、原発事故で明らかな如く日本には民主主義が存在しない。民主主義と〈共同体自治〉は同義だから。如何に〈共同体自治〉をもたらせるか？具体策を考察する。

☆会場は両日とも明治大学和泉キャンパス メディア棟3階になります。

☆受講料無料です。単発での受講も可能です。

☆講義日程は変更になる可能性があるので、国際日本学部掲示板を確認してください。

以上

2012年10月19日
明治大学国際日本学部